

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

確かな学力の向上と基本的生活習慣の確立

～ 「基礎・基本の確実な定着」「時を守り 場を清め 礼を正す」～

＜本年度の学力向上策＞

- 1 「基礎・基本」の定義を明確にした「分かる」「できる」授業づくり
 - ・算数ではT・Tの指導体制を充実させ、既習事項の定着を図る。
 - ・朝学習を利用した「算数タイム」を設定し、「基礎学力定着プログラムワークシート」「課題克服応援シート」を活用することで、基礎学力の向上を図る。
 - ・ICTを効果的に活用した学習活動の充実を図る。
- 2 学校課題研修を基盤にした国語力の育成
 - ・言語活動を意図的に取り入れ、授業の充実を図る。
 - ・学習課題の明示と学習の振り返りにおける書く活動の時間を確保する。
 - ・学習状況調査結果より明確になった「話す・聞く」「読む」の習熟を図る。
- 3 学習に集中できる温かく落ち着いた学習環境の整備
 - ・授業中の「話し方」「聞き方」など、基本的な学習ルールを徹底する。
 - ・生活目標について毎月振り返りを行い、規範意識の向上を図る。
 - ・道徳の授業を充実させ、道徳的実践力を高める。

＜本年度の振り返り＞

- ・年間を通して朝学習の時間を確保し、算数科を中心に基礎学力の定着に努めることができた。また、本時のねらいを明確にし、T・Tの指導体制により授業を行うことで個々の児童に応じた指導ができ、児童が意欲をもって活動に取り組むことができた。
- ・学校課題研修の研究テーマに「思考を深める言語活動」を設定し、言語活動を通して人とかかわる楽しさ、考えを深められた喜びを味わわせることができた。また、グループごとに研究テーマを設定して授業実践を行ったことで、日々の授業改善に役立つ指導法などをお互いに学ぶことができ、教師の指導力向上にもつながった。
- ・学力向上カウンセリング研修を行い、学習状況調査の分析結果を全教職員で共有することで児童に身に付けさせたい力を再確認することができた。また、よい授業集計システムを活用することで教師自身の授業をふり返ることができ、授業マネジメントや授業スキルなどの授業改善にも役立てることができた。
- ・今後、さらに基礎基本の確実な定着と、研修を通して授業力の向上をめざす。